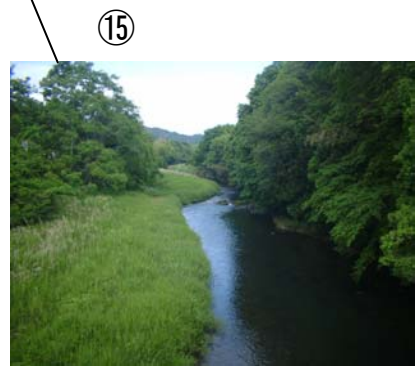
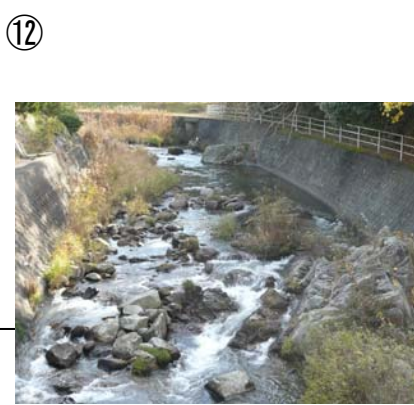
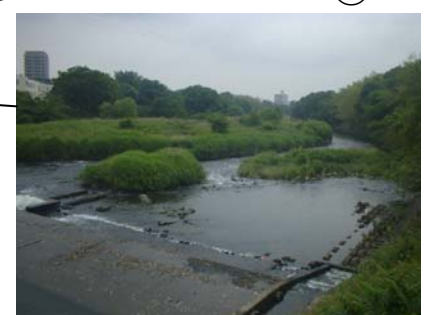
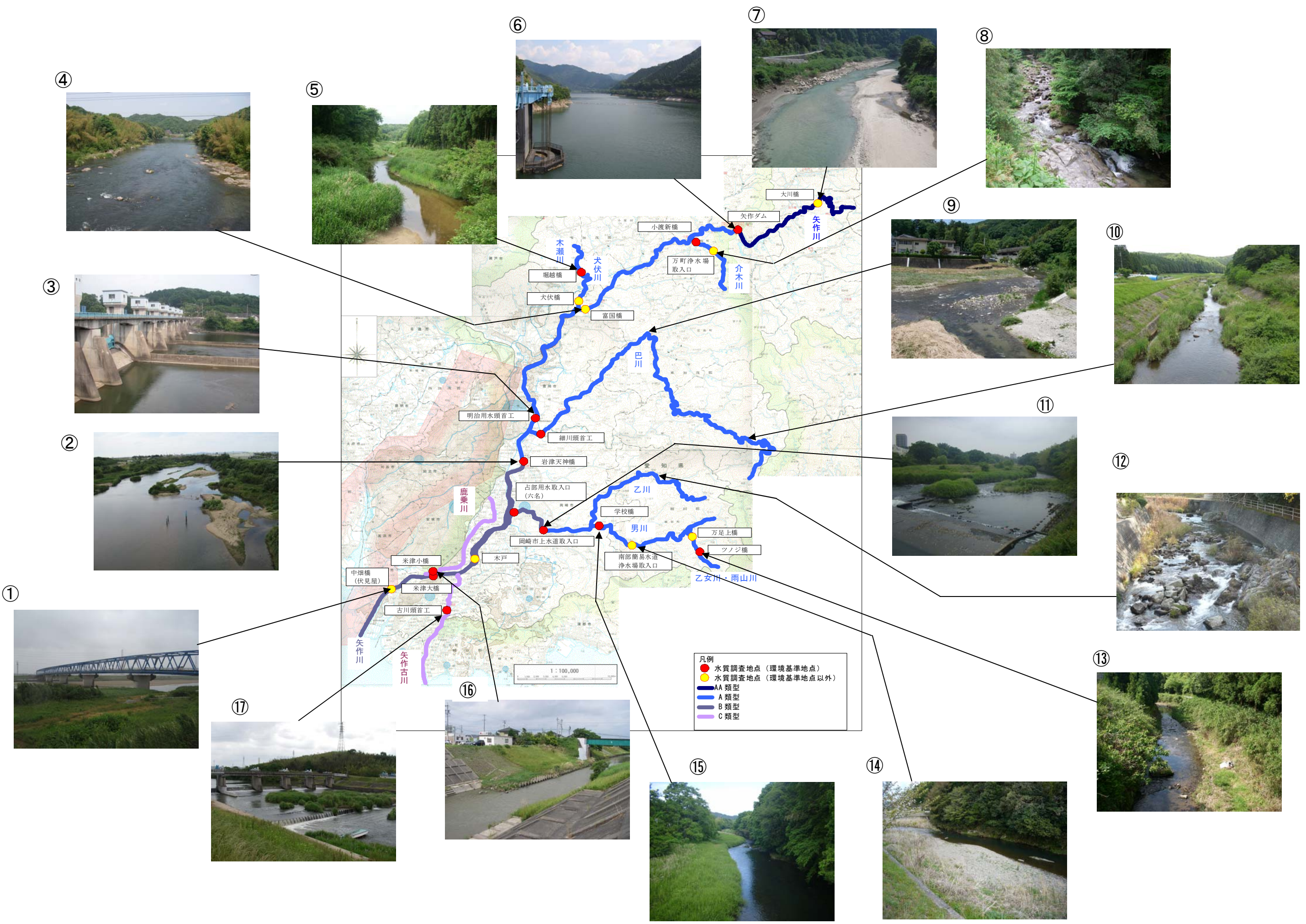


## 矢作川水域における各河川の調査結果の概略



1 矢作川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間		
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温								
				ヒアリング	調査結果	調査結果												
矢作川 上流 (1)	AA 類型	上郷大橋		↑ ↓	○	○	↑ ↓	↑			無	石 岩盤			生物A	直 ちに 達 成		
		押山ダム															ダム	○
		河上瀬橋			○	○												
		大川橋			○	○							12.6	22.2				
		矢作ダム	■										15.1	25.5				ダム
矢作川 上流	A 類型	笹戸ダム										ダム	○	生物B	直 ちに 達 成			
		介木川合流点		×	○													
		有平橋		×	○													
		百月ダム										ダム	○					
		百月発電所		×	○													
		阿摺ダム										ダム	○					
		富国橋	□						14.2	24.0								
		広梅橋		×	○													
		越戸ダム										ダム	○					
		平戸橋		×	○													
		平成記念橋		×	○													
		明治用水頭首工	■							16.1	26.6		頭首工			○		
		矢作川 下流	B 類型	葵大橋		×	○						砂					生物B
岩津天神橋	■								16.4	27.4								
乙川合流点				×	○													
木戸	□								16.7	28.5								
藤井床固												床固		○				
米津大橋	■			×	○				17.0	30.2								
中畑橋	□								17.4	29.2								
矢作川河口																		

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点

水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種：アマゴ、ニッコウイワナ

生物B該当種（矢作ダムより上流）：オイカワ、ウグイなど、（矢作ダムより下流）：コイ、フナ類、オイカワ、ウグイ、スジエビなど

放流された魚類 生物A該当種：アマゴ、ニジマス

生物B該当種（矢作ダムより上流）：ウナギ、（矢作ダムより下流）：コイ、フナ、ウナギ

## 2 巴川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
巴川	A類型	界橋			×	○	↑ 毎年 では ない ↓	↑			無	石 岩盤			生物B	直 ちに 達 成
		恵帽子橋			×	○										
		羽布ダム												ダム		
		大羽橋			○	○	↑									
		沈下橋			×	○										
		盛岡発電所			×	○										
		足助川合流点														
		白瀬発電所			×	○										
		細川頭首工	■						15.1	27.1			頭首工	○		
矢作川合流点																

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点

水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種：ニジマス  
生物B該当種：オイカワ、ウグイ、スジエビなど

放流された魚類 生物A該当種：アマゴ（時折放流）  
生物B該当種：オイカワ、ウナギなど

3 乙川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温							
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
乙川 上流	A類型	前田橋		↕	×	×	↕	↕			無	礫石 岩盤			生物A	直ちに達成	
		聚楽台ビレッジ			○	×											
		天神橋															
		麻生橋			×	○											
		須淵橋			×	○											
		友久橋			×	○											
		男川合流点・築野橋															
		美保橋															
		丸山堰												堰 ○			
		大平堰												堰 ○			
岡崎市上水道取入口	■	×	○			15.9	27.7										
乙川 下流	B類型	日清堰									礫石	堰	○				
		吹矢橋		×	○												
		占部用水取入口	■	×	○			18.2	29.5								
		乙川頭首工											頭首工	○			
		矢作川合流点															

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物A該当種：アマゴ  
 生物B該当種：コイ、フナ類、オイカワ、ウナギ、ナマズなど  
 放流された魚類 生物A該当種：アマゴ  
 生物B該当種：ウナギ

#### 4 鹿乗川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温							
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
鹿乗川	C類型	県道44号線橋梁			×	○					無	砂			生物B	直ちに達成	
		東鹿乗川橋			×	○											
		新幹線橋梁・度合橋			×	○											
		姫下橋			×	○											
		居林橋			×	○											
		米津小橋	■						17.7	29.0							
		鹿乗川堰												堰			
		矢作川合流点				×	○										

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種：コイ、フナ類、オイカワ、ナマズなど

#### 5 矢作古川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A		生物B	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
矢作古川	C類型	小島橋			×	○					無	砂礫			生物B	直ちに達成
		矢作古川橋			×	○										
		古川頭首工	■		×	○			17.6	28.5				頭首工		
		矢作古川河口														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種：コイ、フナ類、オイカワ、スジエビ、モクズガニなど

6 介木川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
介木川	A類型	柿平橋		↑ ↓	○	×	↑ ↓	↑ ↓			無	石 岩盤		生物A	直 ちに 達 成	
		旭橋			○	○										
		萬町橋			○	×										
		万町浄水場取入口	□						13.3	22.9						
		介木橋			○	○										
		小渡新橋	■		×	○			13.3	22.9						
		矢作川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点  
 水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点  
 魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲  
 水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均  
 保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など  
 魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類	生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：オイカワ、ドジョウなど	放流された魚類	生物A該当種：アマゴ 生物B該当種：コイ、フナ、ウナギ
------------	----------------------------------	---------	--------------------------------

7 男川

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保 護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間	
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温							
				ヒアリング	調査結果	調査結果											
男川	A類型	双瀬橋					↑ ↓			無	石 岩盤			<b>生物B</b>	直ちに達成		
		淡淵堰堤														堰	
		滝下橋			×	○											
		南部簡易水道浄水場取入口	□						14.8			26.0					
		堰															○
		床固														堰 床固	
		取水堰														堰	
		生平小学校				×		○									
		学校橋	■			×		○				14.8	25.8				
		乙川合流点															

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点

水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種：フナ類、オイカワ、ウナギなど 放流された魚類 生物B該当種：ウナギ



## 8 雨山川及び乙女川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
雨山川 及び 乙女川 下流	A類型	雨山ダム					↑ ↓			無	石 岩盤	ダム		生物B	直 ち に 達 成	
		栗田橋			×	○										
		ツノジ橋	■					14.8	24.7							
		堰堤														
		万足上橋	□					14.8	25.3							
		男川合流点			×	○										

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点

水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワなど

放流された魚類 生物B該当種：ウナギ

## 9 木瀬川及び犬伏川下流

水域名	既存 類型	地点名	環境基準 地点等	水生生物生息状況			魚類放流		水温(°C)		保護 水面等	河床 材料	主な 横断 構造物	魚道	類型案	達成 期間
				生物A該当種		生物B 該当種	生物A 該当種	生物B 該当種	平均水温	最高水温						
				ヒアリング	調査結果	調査結果										
木瀬川 及び 犬伏川 下流	A類型	第2ダム					↑ ↓			無	砂 岩盤	ダム		生物B	直 ち に 達 成	
		木瀬ダム			×	○										
		前戸橋			×	○										
		堀越橋	■					14.9	25.6							
		落合橋			×	○										
		犬伏橋	□					14.0	24.7							
		矢作川合流点														

凡例)

地点名 ゴシック体は、既存調査及び現地調査で水生生物（魚介類）の調査を実施している地点 環境基準地点等 ■：水質環境基準地点、□：補助点

水生生物生息状況 ヒアリング：漁協、専門家等からのヒアリング結果による生息範囲 調査結果：○は既存調査及び現地調査で生物A・生物Bの魚介類の生息が確認された地点、×は確認されなかった地点

魚類放流 漁協が魚類を放流している範囲

水温 平均水温：平成15～19年度の年平均値の5年平均 最高水温：平成15～19年度の年最高値の5年平均

保護水面等 水産資源保護法に基づき保護水面に指定された水域、産卵場又は幼稚仔の生育場として保護が図られている水域など

魚道 ○：魚道あり

調査で確認された魚類 生物B該当種：オイカワなど

放流された魚類 生物B該当種：コイ、フナ、ウナギ